

第2次総合計画

豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創る きららか射水

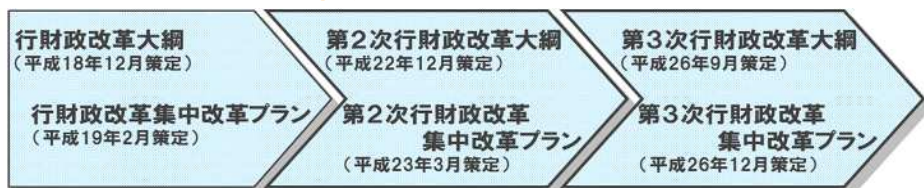
実施計画

↑ 「第2次総合計画」を支える計画の一つ

第4次行財政改革大綱

第1 行財政改革の趣旨

1 これまでの取組



収支改善効果額

約19億円

約8.4億円

約6億円

2 本市を取り巻く社会環境等

少子高齢化を伴う人口減少社会

- 地域コミュニティ機能の低下、地域産業の担い手不足、空き家の増加など

厳しい財政状況

- 生産年齢人口の減少による税収の減少
- 普通交付税の一本算定による減少
- 合併特例事業債の発行限度額到達
- 老年人口の増加による社会保障関係費の増加

公共施設の老朽化

- 老朽化施設の増加による更新費用及び維持管理費の増加

3 更なる行財政改革の必要性

第2 行財政改革の基本姿勢

目標 将来を見据えた経営基盤の確立と自立した都市の実現

視点 長期的な課題を踏まえた「量」の改革と「質」の改革の両立

基本方針 1 協働・共創による質の高い行政経営の推進
市政情報の共有と協働・共創によるまちづくりの充実
ICTの有効活用と効果的な市民サービスの提供
民間活力によるサービスの向上

2 効率的・戦略的な財政運営
事務事業の効率化・適正化
公共施設マネジメントの促進と資産・債務の適正化
自主財源の確保及び創出
公営企業の経営健全化

3 職員と組織の質の向上
職員の能力及び意欲向上の推進
時代の変化に対応した弾力的な組織体制の構築
職員定数の見直し及び給与の適正化

第3 行財政改革の推進方法

第4次行財政改革集中改革プランの策定
推進期間：5年間（令和元年度～令和5年度）
推進体制及び 進行管理は第3次と同様